

着る文化

KAWASAKI COLLEGE OF ALLIED HEALTH PROFESSIONS

川崎医療短期大学 広報誌

2010年 12月発行 No.71



華やかな学園祭の光景（撮影：重田 崇之）

特集 川崎学園祭

■ 公開講座

■ 教員の活動紹介^②／先輩から後輩へ^②

■ インフォメーション

■ 清掃ボランティア／新任教職員紹介

■ 上海師生訪問団／サークル紹介^⑥

■ 授章式 他

■ GP採択決定／補助金・助成金／川崎エコプロジェクト



特 集

川崎学園祭（短大マップ編）

川崎学園祭の様子を写真とマップをもとにお伝えします。
学生たちの生き生きとした様子をご覧ください。



学園創立 40 周年記念
第 36 回川崎学園祭

2010 年 10 月 9 日（土）・10 日（日）

統一テーマ：ROOTS ～新たなスタート～



木々に囲まれた緑豊かなキャンパス



川崎医療短期大学 キャンパス案内図

Kawasaki Gakuen Festival 2010

Event Map

短大イベント

体育館前広場イベント



エアアーチ
来場者を迎えるにふさわしいピック
なエアアーチ。



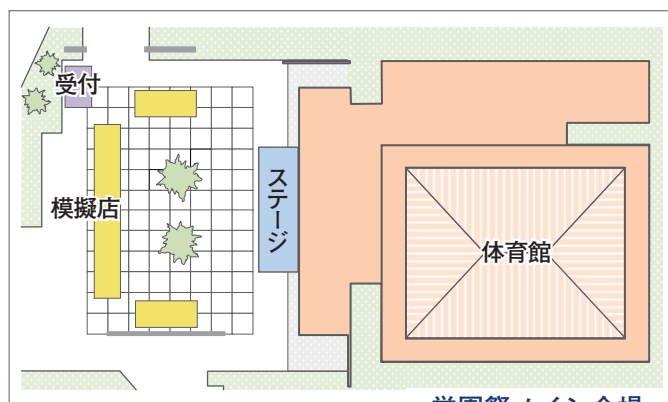
受付
来場者への学園祭パンフレットの配
布や、案内などを担当。今年は40周
年記念としてロゴ入りの風船を配布。



模擬店
9日 (9:00~17:00)
10日 (9:00~16:00)
詳しくはP4をご覧ください。



学生会メンバー
学園祭の企画・運営や各パートの責任者を担当しているスタッフ。
スタッフと多くの一般学生の協力によって、学園祭が成り立っています。



学園祭メイン会場

ステージイベント



手話部コンサート
10日 (12:00~)



軽音部Live
9日 (12:30~) 10日 (11:30~)

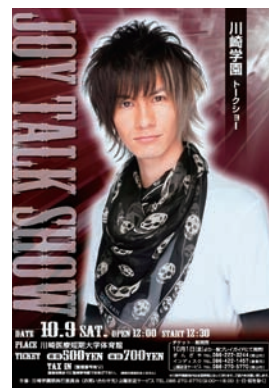


なんでもコンテスト
10日 (10:30~)



アカペラ部Live
10日 (10:00~)

体育館内イベント



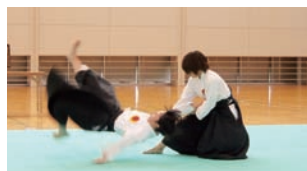
川崎学園トークショー
9日 (12:30~13:30)
短大と医大の合同イベントです。
今年は今話題の「JOY」が来学。体
育館2階にて開催。



第6回オープンキャンパス
今年最後のオープンキャンパスです。
入試を控えた高校生の皆さんが参加。



学科紹介
9日 (9:00~15:00)
10日 (9:00~15:00)
詳しくはP3をご覧ください。



合気道演武会
10日 (14:00~15:00)
体育館2階にて開催。

Kawasaki Gakuen Festival 2010

Event Map

オープンキャンパス



放射線技術科

学科の行事や診療放射線技師の業務内容をパネルで展示しました。また、「微弱な放射線の計測」や「X線画像を3Dで見る」など、体験型の催しも行いました。初日には、川崎医科大学附属病院の中央放射線部を訪問する「病院見学」を実施。病院で働く診療放射線技師の様子を知るよい機会となったようです。

2



臨床検査科

臨床検査科では、就職先や国家試験状況・臨床検査の内容などのパネル展示を行いました。また、超音波やABO式血液型の判定、血糖値の測定などを実施したり、血液や病理の標本を観察したりと、臨床検査を体験できるようなコーナーを設けました。附属病院の中央検査部見学もあり、実際の現場を見るよい機会になったようです。

1



看護科

今年は「母性看護」をテーマに、妊娠中からの生活指導についての内容を展示し紹介しました。男子学生も来場者に上手に説明し、興味関心を持っていただきました。なかでも「妊婦体験」は大変好評でした。また、「血圧測定」も行い、来場者との会話が弾み和やかな雰囲気の中で多くの方々に見ていただきました。

3



進学相談

入試の時期を迎え、受験を希望する高校生が多数訪れました。各学科の教員が対応し、対面式での進学相談ということで、入学して勉強についていけるか、国家試験や資格試験に合格できるのかなど、かなり具体的な質問・相談が多かったようです。入試間近の高校にとって、役立つ情報を提供できたようです。

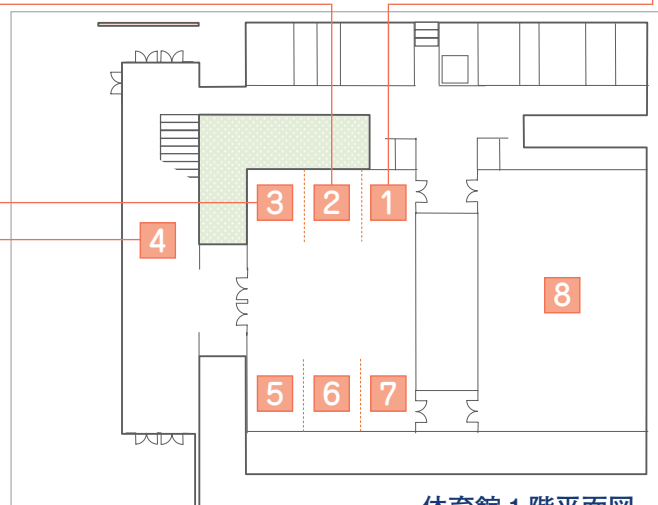
4



医療保育科

けん玉やピー玉、横長の積木「カプラ」を用意して、訪れた人たちに「遊び」を体験していただきました。子どもにとっての遊びは大人の勉強のようなもので、たくさんのお話を学ぶことができます。遊びのプロを目指す学生が実演しながら、訪れた人と一緒に楽しい時間を過ごしました。

5



体育館1階平面図



介護福祉科

介護福祉科では、車いすの体験コーナーを中心に学生が作成した学科紹介や介護福祉士についての紹介パネルを展示しました。また、学生が考案した介護用品も説明文を付けて展示。見学に来られた方々は、日頃目にする事のない車いすに実際に乗って体験。利用者としての恐怖心、また、介護する側の気持ちを実際に使用して感じ取っていただきました。

6

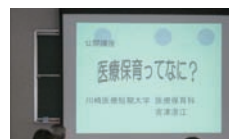
御茶会（茶道部）



P9の「サークル紹介」で、茶道部の活動の様子を紹介していますのでご覧ください。

7

第2回特別公開講座



P5の「第2回公開講座」で、講座の様子を紹介していますのでご覧ください。

8

Kawasaki Gakuen Festival 2010

Event Map

模擬店

学園祭当日の模擬店からのコメントを紹介します。

パレーボール部



一生懸命営業中。安くおいしいフランクフルトを売っています。ぜひ、買ってください！

5

るねちゃんのクレープ屋



医療保育科1年が力を合わせ、ほぞぼそとクレープを作っています。我等医療保育科が天使の笑顔でお待ちしております。

4

写真同好会



おいしいライスバーガーとジュースを販売しています。ぜひぜひ一度食べてみて下さい！ボリュームたっぷり！

3

バトミントン部



少し大きめのバナナを使っているのでボリュームたっぷりです！おやつに是非どうぞ。

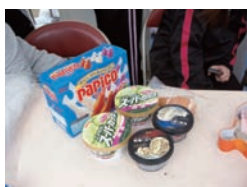
2

介護福祉科1年



元気もりもりやきそば盛り盛り!!かわいいうがいばいのやきそば店です!!!愛情たっぷりのホカホカやきそば!!

1



臨床検査科38期生

甘くて美味しいアイス売ってまーす!!味は間違いないです。お願いだから来て♡種類はいろいろあります☆

6



放射線技術科2年

できたてホヤホヤの放射線技術科焼き(たい焼き)です。放射線技術科2年の愛情たっぷり、素材にこだわり作りました。

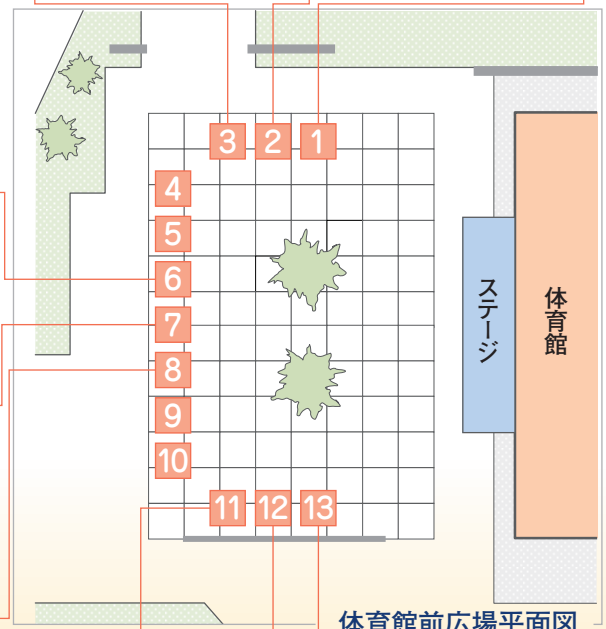
7



硬式テニス部

焼き鳥です!それも塩とタレの味が選べる!なので皆さんぜひ来て下さい。お手軽焼き鳥です。

8



体育館前広場平面図

Dolce (ドルチェ) 9



こんにちは、私達は女子7名でアイスクリームやフロート、ジュースを売っております。是非、買いに来てください。

ソフトボール部 10



毎年伝統の焼きそばだけでなく、焼きうどんでもあります。とてもおいしいので来年もよろしくお願ひします。

バスケットボール部 11



バスケット部が作った、外はカリカリで中はフワフワのたこ焼きです!おいしいのでぜひ食べてみてください。

合気道部 12



1個50円の安くておいしいハンバーグを売っています!ソースも4種、トッピングもあるので種類も豊富です。

手話部 13



私たち手話部は、ジュースの上にアイスクリームをのせたフロートを販売しています。めちゃうまです!!

子育てキャラバン隊

in 川崎医療短期大学

医療保育科 教授 寺田 喜平他



▲胎児からの子育てのお話



▲いただいた質問に熱心に答えました

の皆さまから具体的な質問があり、あつという三時間の質問でした。

九月十一日(土)、本学にて開催されました。これは、子どもたちの健やかな成長を地域の皆さんと一緒に考えるものであり、山陽新聞社会事業団が主催し、毎年県内数か所で開催されるものです。この日、子育て中の保護者をはじめ、保育、医療関係者が百名以上集まり、子どもを産み育てる環境について考える機会となりました。

前半の特別講演では、本学医療保育科・寺田喜平教授が「子どもの病気と子育て」と題して、子どもが罹りやすい感染症やそのワクチンに関する最新の知見を紹介しました。後半のセミナーでは、本学医療保育科・中原朋生准教授をコーディネーターに「医療と保育」あらゆる子どもの成長のために「をテーマとし、四名の講師が各専門分野について講演しました。本学看護科・登喜玲子教授が「お腹の中から始まる子育て」、本学医療保育科・入江慶太助教が「乳幼児期の遊びの大切さ」、本学医療保育科・宮津澄江准教授が「病気のある子どもの保育」、本学医療保育科・中井靖助教が「発達に遅れのある子どもの保育」について、分かりやすく話しました。最後の質疑応答では、横浜から参加された保育所で勤務する看護師さんや、保護者の皆さま

平成二十二年 第二回公開講座

テーマ

すべての子どもに保育を

「医療保育つてなに」

医療保育科 准教授 宮津 澄江



▲医療保育に関心のある方が聴講されました

います。平成十四年には診療報酬に保育士加算が導入され(二日百点)、平成二十二年四月から特定機能病院においても保育士加算が認められるようになりました。少しずつではありますが、医療の場に保育の必要性が広まっています。

十月九日(土)、本学の学園祭の初日に本学体育館において「すべての子どもに保育を」医療保育つてなに」というテーマで話す機会をいただきました。

平成十七年四月に短大において日本で初めての医療保育科が開設されて六年目を迎えています。医療保育という言葉は平成七年頃から使われはじめました。医療保育は通常の保育所や幼稚園における保育とは異なり、医療と密接に関わる場における保育を総称としたもので、病院・診療所(外来や病棟)、病児保育施設、障害児保育施設における保育をいいます。子どもにとつての医療の場は病気を治す場であるとともに、生活をする場であり、成長・発達を促す場でもあります。日本医療保育学会における医療保育の定義は、医療を要する子どもとその家族を対象として、子どもを保育の主体と捉え、専門的な保育支援を通じて、本人と家族のQOLの向上をめざすことを目的とするとして



▲医療保育のお話

平成二十二年 第三回公開講座

テーマ

がん治療最前線 切らなくても治る、副作用の少ない粒子線治療とは

副作用の少ない粒子線治療とは

メテイボリス医学研究財団 がん粒子線治療研究センター長 菱川良夫氏
放射線技術科 講師 成廣直正

十一月十三日(土) 午前十時から本学体育館で、がん粒子線治療研究センター長の菱川良夫氏と、本学放射線技術科の成廣直正講師により、放射線治療における最新技術の講演が開催されました。

はじめに、成廣講師から「IMRT(強度変調放射線治療)」と題して、放射線治療の歴史や治療方法などの概要と、直線加速装置(リニアック)を使った最新治療技術であるIMRTの原理とその有効性について講演がありました。



▲菱川氏による「粒子線治療について」の講演風景

引き続き、菱川氏から今回の公開講座のサブタイトルにもなっている「粒子線治療について」の講演が行われました。講演の中で、「他の治療では治らないがんが高確率で治る」「元気な患者さんを元気なまま治す」など、粒子線治療の特徴について説明がありました。また、がん治療の方法には選択枝がいくつかあり、自分にあつた治療方法をセカンドオピニオン(よりよい判断を行うため、専門的な知識をもった第三者に意見を求める行為)によって見つけることの大切さを強調されました。最後に、菱川氏がセンター長を務める鹿児島県にある「メテイボリス指宿」の紹介があり、盛大な拍手とともに講演が終了しました。

当日の受講者は、過去最高の百四十七名を記録し、一般の方々のがん治療に対する関心の高さが窺えました。

▲第3回公開講座の演者
右：菱川良夫氏
左：本学の成廣直正講師

清掃ボランティア

放射線技術科二年 蒲生 美波

九月二十五日(土)、朝七時五十分に本学体育館前に集合し、学友会主催で清掃ボランティア活動を行いました。夏休み中にも関わらず、学友会委員をはじめ、学生、先生方計五十人が集まり、約一時間かけて大学周辺のゴミ拾いをしました。普段何気なく通っている道も、よく見てみると小さなゴミがたくさん落ちていました。また、季節の変わり目で落ち葉がたくさんありました。

例えば自転車に乗って細い道を走っているとき、ペットボトルが落ちていたり邪魔に思いませんか? 「なんでこんなところに捨てたんだろう」「汚いなあ」そう思っている、人の捨てたゴミを拾って捨てるのは汚い感じがしたり、恥ずかしい思いをしたりするものです。

川崎学園は今年創立四十周年を迎え、新たなスタートをきりました。そこで、学友会ではこれを機にこれからも定期的にこの清掃ボランティア活動を実施しようと思っています。みんなでやるからこそ楽しく掃除をすることができま

す。また掲示板等でお知らせしますので、その時は是非参加してください。みなさんも自分達がお世話になっている通学路を一緒に綺麗にしてみませんか?



▲集めたゴミを前に(右から2人目が筆者)



▲徹底的に清掃しました



▲50名の学生・教職員が参加

いい日いい日
11月11日 毎日、あったか介護ありがとう

『介護の日』記念イベント「介護フェア」開催

介護福祉科 辻真美

十一月十一日は、「いい日、いい日」の親しみやすい語呂合わせにちなんだ「介護の日」です。利用者さんや家族介護者、介護従事者、介護を学ぶ学生たちが一緒に「介護」を考える日とし、また、多くの方に介護について関心をもってもらえるよう啓発を目的としています。

その「介護の日」を記念して、十一月七日(日)に、県総合福祉会館一階大ホールにおいて、イベントが開催されました。今年は、(社)岡山県介護福祉士会と岡山県介護福祉士養成協会の協賛のもと執り行われました。内容は、県下八校の学生によるアトラクションや福祉用具の展示、認知症をテーマにしたシンポジウムです。他にも、介護相談や各校の展示紹介、介護ロボットも登場し、関係者の熱い思いが集大成した記念イベントでした。

本学も学生と教員、総勢二十五名が参加しました。受付や会場の設営をお手伝いし、アトラクションでは、「トイレの神様」の手話歌を行いました。

学生たちはイベントを通して、先輩方となる実践者や他校の学生との出逢いを体験し、小さな一歩ではありますが、将来の専門職としての自覚を新たにしました。

このイベントが毎年開催され、誰もが気軽に集い、介護について理解を深めることのできる場になることを願わずにはいられません。

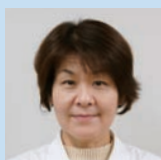


▲舞台上で手話歌を披露する学生たち



▲受付にて手伝いをする風景

新任教職員紹介



吉田 晴子
本学図書館

医大と医福大の図書館を経て、10月より

本学図書館へ異動して参りました。短大勤務は初めてですが、今までの経験を活かし、図書館という場を通じて皆さんの学習・研究支援に努めます。

決勝戦の相手は、同じ学生チームの倉敷芸術科学大学でした。このチームは優勝候補の倉敷中央病院に勝利した強豪でしたが、8対4で勝つことができました。皆さんも私たちと一緒にソフトボールを楽しんでみてはいかがでしょうか?

私たちソフトボール部は九月二十日(月)、第四十六回岡山県臨床検査技師会主催のソフトボール大会で優勝という快挙を成し遂げました。今大会では、AとBの二チームが出場し、共に予選を勝ち上がりました。Aチームは惜しくも準々決勝で岡山済生会病院に敗れてしまいました。Bチームは勢いが衰えず、強豪に次々勝利し、気づいた時には決勝戦へ駒を進めていきました。



ソフトボール部
優勝!

放射線技術科 授章式

九月二十五日(土)、三十三回目となる授章式が挙行されました。授章式は、本学科一学期から続いている伝統の儀式で、病院での臨床実習に先立ち、実習開始の許可の証としてワッペンが授与されます。

はじめに今城学長から、「病院では身だしなみやマナーを守り、臨床実習要項の内容を熟知して臨んでもらいたい。中国に守破離^{しゅぱはり}と言う言葉がある。守はその人を真似て成りきる、破は自分なりの型を作る、離は独り立ちをする、という意味で、この言葉を実践し、実習を終えて一回り成長してもらいたい」と式辞が述べられました。続いて、村中学科主任が「ワッペンの授章は一年半にわたる基礎学習を終了し、臨床実習の許可として贈られる。また、本学放射線技術科の実習生であることを表すと同時に、友情と団結の印である。これまでの伝統に恥じないように、強い決意で臨み、励んでほしい」と述べ、二年生五十九名一人ひとりに期待と応援の思いを込めワッペンが授与されました。また、卒業生(平成



▲代表学生による決意表明



▲学科主任によるワッペンの授与



▲記念講演



▲卒業生による激励の言葉

十八年度卒)で福山市民病院に勤務している有田由美さんから、自分の体験をもとに、第一に患者様に見えない場所で、こまめにたくさんの方のことをモテること、第二によい緊張感を持って、初心を忘れないようにすること、第三に患者様を大切にすること、以上の事を守って自分の描く理想の技師となつてほしいと「激励の言葉」が述べられました。最後に、授章生を代表して今泉大将さんが「決意表明」を行い、式が終了しました。

授章式の終了後、川崎医科大学附属病院の看護部長であり、本学看護科教授でもある千田美智子先生による「医療の現場から―チーム医療―」と題した記念講演が行われました。

看護科 戴帽・授章式

十月三十日(土)に看護科二年生百三十六名(女子百二十三名、男子十三名)の戴帽・授章式が挙行され、主任・副主任からナースキャップ(女子)と学章(男子)が授与されました。学生は看護の灯火を掲げ、ナイチンゲール誓詞を全員で唱和しました。

その後、今城吉成学長から式辞を頂き、続いて岡山県看護協会会長の山谷富美枝氏、卒業生の川崎医科大学附属病院看護師の川田幸恵氏より祝辞や激励の言葉をいただきました。会場は厳粛な雰囲気包まれ、学生一人ひとりの表情も輝いていました。

最後に戴帽・授章生代表の折重綾香さんが決意表明を行い、看護の道に進む気持ちと意気込みを誓いました。

臨床検査科 ワッペン授与式

九月二十九日(水)に臨床検査科ワッペン授与式が挙行されました。全員で学歌を斉唱した後、通山薫学科主任から二年生六十七名に対しワッペンが授与されました。その後、代表学生の間賀田隆秀さん先導により、「臨床検査科授与式誓詞」を声高らかに読み上げました。

また、激励の言葉としてまず通山学科主任から、ワッペンの意味や現場での取り組み方について、次に今城吉成学長から、臨床検査技師の役割と責任の重さについての話があり、二年生は決意を新たにしました。

医療保育科 実習開始式

実習開始式は、医療保育科の二年生が学外での実習を開始するにあたり、毎年実施しています。本学の学生としての誇りを持つて実習に臨むことを、教職員や後輩である一年生に対して宣言するためのものです。

今年度は、医療保育科主任の梶谷喬教授から社会人としてのマナーや守秘義務等の注意事項が伝えられ、さらに今城学長から激励の言葉が贈られました。最後に、学生代表の穴甘咲季さん、桑田実佳さんが宣誓を行い、翌日から始まる保育所での実習への意気込みを宣言しました。緊張した面持ちで式に臨む学生の表情からは、実習への意欲の高まりが感じられました。



▲学歌を高らかに歌いました



▲ワッペンを左肩に



▲看護の灯火を掲げナイチンゲール誓詞を唱和

教員の活動紹介②

「倉敷市大学連携講座」

薬の正しい知識とお薬の基本のきほん

看護科 教授 内田 昌宏



倉敷市大学連携講座とは、倉敷市内にある十大学（大学・短大）の教授・准教授陣が、専門分野についての講義を行うものです。倉敷市民、あるいは市内に通勤・通学の方なら誰でも聴講でき、「ライクパーク倉敷」で毎回開講されています。川崎医療短期大学からは、臨床検査科下田健治教授が「寄生虫とのたたかい―スライドで見るアフリカの今と医療援助活動―」と題して、七月二十二日にすでに講演しています。

私の専門は薬理学ですので「薬の正しい知識」というタイトルでお話させていただきました。約七十名の市民の方が参加されました。「薬がなぜ効くのか？」から始まり、次に「薬が身体のなかでどのような一生をおくるのか？」ということテーマとして、薬の相互作用や副作用を説明しました。

また、最近脚光を浴びているジェネリック医薬品について、「先発医薬品とジェネリック医薬品は、果たして同じなのか？それとも違うのか？」ということについては聴講者の方も大変興味をもって聞いていただきました。

先発医薬品とジェネリックは含まれて



▲講演内容を熱心に聴きメモを取られています

いる成分は全く同じですが、成分を包んでいる添加剤の違いはあります。この添加剤の違いによりアレルギーが発現することがあります。また、ジェネリック医薬品は先発医薬品には無い付加価値を付けている場合もあります（例えば、水なしで唾液により溶解するなど）。

今後も、川崎医療短期大学の教授・准教授陣が講演を行う予定ですので、興味がある演題があれば、是非ご参加ください。

先輩から後輩へ②

「子どもたちの笑顔」

高松市立瀬戸内保育所保育士 石原 さゆり

（医療保育科三期生）



今年四月から、私は保育所で一歳児クラス十五名の担任をしています。最初は毎日をやり過ぎることに精一杯で、戸惑うことが多かったですが、少しずつ保育の流れをつかむことができるようになってきています。

普段、保育をしているなかで難しいと感じることは、決して正解がないことです。子ども一人ひとりの性格、家庭環境、場面、状況によって、どのような対応が適切であるかについては、日々考えさせられます。早く自分の対応に自信を持つことができるようになりたいです。今考えると、学生生活を送っているときから、自分が保育でどのようなことを大切にしたいか、どのような子どもに育てて欲しいかという考えを持っていただいた方が良かったと思います。

また、子どもたちに向かって話を始めたいときや、こちらに注目して欲しいときに、手遊びやペープサート、パネルシアターなどのレパートリーが多くあると子どもたちの興味を引きやすくなりますし、自分自身も一緒に楽しい時間を過ごすことができます。実際、私も学生ときで作ったものを活用することができ、

とても役立っています。ぜひ、学生ときから多くの保育技術に触れて、自分のものにしてほしい。

保育をしていて、いろいろと悩むこともありますが、朝出勤して保育室へ行くたびに「せんせー！」と走って近寄って来てくれる子どもたちの笑顔に、毎日元気が増えたり、トイレへ行くことができるようになったりと、子どもたちの成長していく姿を近くで実感できることは、とても幸せです。

まだまだ駆け出しの状態ですが、周囲の人たちにも恵まれ、同じ保育園の先生方は熱心に指導してくださいます。これからも、どんなことでも自分の力に変える「何でもこやし」の気持ちでがんばります。後輩のみなさんも、楽しく充実した学生生活を送ってくださいね！



▲みんな、しっかり見てね

上海師生訪問団

看護科二年 古賀 愛理

八月十日から二十日まで第十一期上海健康職業技術学院(旧上海職工医学院)訪問団として、看護科二年生十名および引率教員の計十二名が参加しました。

上海に到着すると上海の学生さんと先生方が空港に迎えに来てくださっていて、熱烈的な歓迎を受けました。空港から学校へ向かうバスの中で自己紹介をしたり、歌を歌ったりして、すぐに上海の学生さんと仲良くなりました。

上海での四日間は、朝から夜遅くまで色々な観光名所をまわって異国の文化に触れることができました。中でも一番心に残っているのは、今年上海で開催されている万博に行ったことです。私達のグループは日本館に入るため五時間近く並びました。並ぶのは大変でしたが、並び方や待ち方にも文化の違いを垣間みることができ、興味深かったです。ま



▲美味しい料理を囲んでの晩餐会



▲講義で使われている最新の妊婦モデルについての説明を受ける

技術学院には、実物の臓器の展示室や手術室などもあり、実際の病院と変わらない充実した設備に驚きました。

最後に、私達訪問団を支えてくださった関係の皆様に感謝します。

た、日本館は日本の四季や歴史などわかりやすく説明されていて日本人なのに、感動してしまいました。上海の学生さんも日本という国を身近に感じ喜んでくれていてよかったです。



▲上海健康職業技術学院玄関前での記念撮影

茶道部

私たち茶道部は茶道の精神、点前作法の心得を身につけ、実践できるよう部員12名、切磋琢磨しあい活動しております。学年、学科を越え部員全員とても仲がよく、和気藹々とした楽しい部活です。

春に新入生が加わり新たにスタートした我が部は、学園祭でお茶会を開くことができました。お客様に心をこめたおもてなしができるよう、点前の稽古だけではなくお菓子や会場の飾り付けまでこだわりを持って準備をいたしました。お茶会準備はとても大変でしたが、足を運んでくださったお客様の笑顔にいただき、達成感と充実感でいっぱいのお茶会となりました。

茶道部は土曜日の13時から月2回、外部から先生をお招きして学生寮2階にある部室で活動しております。

温かいお茶と美味しいお菓子で最高のおもてなしを致しますので是非、遊びに来てください。(看護科2年 狩野 舞子)



サークル紹介⑥

弓道部

「弓道部ってあったんだ?」と言われてますが、短大にも弓道部はあるんです!

私たち弓道部は月・木・金の週3日間、福祉大の弓道場を借りて練習をしています。曜日によっては医大や福祉大の弓道部の方と一緒に練習を行い、師範の先生が来られて指導をして頂くこともあります。普段は道場での練習ですが、県内リーグなどの試合や射会、学園祭での武道祭に参加するなど、日々の練習の成果を確認することもあります。短大ということで部活をする期間も短いですが、初心者から経験者までみんな楽しく和気藹々とした雰囲気の中で部活に取り組んでいます。現在、弓道部では部員を募集中です。初心者・経験者問いません。弓道に興味がある、やってみたい、袴を着たい。そんな方は是非、福祉大の弓道場へ見学に来て下さい。(臨床検査科3年 大原 夕花)



平成22年度 補助金・助成金一覧			
研究代表者	一般教養教授 名木田 恵理子	配分額 (千円)	2,860
名 称	科学研究費補助金 基盤研究 (C) 『医療系英語授業へのeラーニングと協調学習の効果的導入：デザインから実践・評価まで』		
研究代表者	放射線技術科准教授 原内 一	配分額 (千円)	1,430
名 称	科学研究費補助金 基盤研究 (C) 『側方散乱を用い被写体体型に依存せずに高診断能の低価格乳房正面撮影装置開発』		
研究代表者	一般教養講師 森本 寛訓	配分額 (千円)	1,560
名 称	科学研究費補助金基盤研究 (C) 『介護福祉士の職場定着を促進する要因に関する研究ーライフコースの観点からー』		
研究代表者	医療保育科准教授 中原 朋生	配分額 (千円)	910
名 称	科学研究費補助金若手研究 (B) 『米国キャラクターエデュケーションにおける公民と道徳の統合論による社会科授業開発』		
研究代表者	医療保育科助教 中井 靖	配分額 (千円)	1,300
名 称	科学研究費補助金若手研究 (B) 『プロソディの音声解析を活用した基本的言語形成期における自閉症超早期診断ツール開発』		
研究代表者	一般教養准教授 橋本 美香	配分額 (千円)	250
名 称	財団法人川崎医学・医療福祉学振興会 『医療福祉系学生のための導入教育』		
研究代表者	一般教養准教授 橋本 美香	配分額 (千円)	150
名 称	財団法人両備 ^{てい} 園記念財団平成 22 年度第 32 回助成 『医療・福祉を学ぶ大学生のための漢字教育』		



地球温暖化対策
ワーキング
グループだより

川崎エコ
プロジェクト

NO.11

Mottainai

20世紀の後半になって、私たちは「大量生産」「大量販売」「大量消費」というパラダイムのもとで過ごしてきました。しかしどうでしょう。もうこんなパラダイムは時代遅れです。現在は「もったいない」という言葉で表現されるパラダイムで生きるべきではないでしょうか。つまりこの「もったいない」という一語には「消費削減（リデュース）」「再利用（リユース）」「再生利用（リサイクル）」、そして「地球資源に対する尊敬（リスペクト）」という概念が含まれているのです。

意外なことがあるものですね。環境分野で初めてノーベル平和賞を受賞されたケニア人女性、ワンガリ・マータイさんは、2005年に京都議定書関連行事出席のために来日された折りに、日本語の「もったいない」という素晴らしい概念が込められた言葉を知り、感銘を受けました。そして、マータイさんはこの日本語を、環境を守る世界共通語「Mottainai」として提唱したのです。

(地球温暖化対策委員会ワーキンググループ)

難関を突破し

GP採択決定

Good Practice(GP)採択で試される
本学の教育力・組織力

平成 21 年度から文部科学省は、学士力の確保や教育力向上の取組の中から、達成目標が明確で、効果が見込まれる計画に対して、重点的な財政支援を行なっています。昨年本学は、応募の機会を逸しましたが、今年は「**学士力向上のための統合的教育戦略**」として「**大学教育推進プログラム**」GP に応募し、298 校中 30 校という難関を突破しました。総事業費は 3 年間で約 6 千 400 万円、事業内容は HP に詳しくアップロードの予定です。千載一遇のチャンスを得て、厳しくアカウンタビリティを問われる環境下で、学士力向上に向けた本学の実力が試されることになります。

短歌・俳句受賞報告

海外日系協会他主催の第 7 回海外日系文芸祭において、本学介護福祉科 2 年生の西川千尋さん（短歌部門／学生の部）と仙田瑞穂さん（俳句部門／学生の部）が、入選しました。表彰式が、10月23日（土）、東京都千代田区永田町にある憲政記念館おいて行われ、両名が出席しました。

西川千尋さんは「利用者のお宅に並んだレトルトに遠方に住む娘を思う」という歌で入選しました。表彰式について、「年齢に幅がある授賞者の大半が、現在海外在住の日本人でしたが、短歌や俳句が日本を離れていても誰もが関心のあるものであることを実感しました。」という感想を寄せてくれました。

仙田瑞穂さんは、「猫たちがふとんに来ない春始め」という俳句で入選しました。「日系人文芸祭ということで外国から来られた方が多く、国際交流を深める場でもあると思いました。めったにない貴重な体験をすることができてとても嬉しく思っています。」と語っています。

この場をお借りして、この式の出席にご協力いただいた方々に感謝いたします。

(介護福祉科)



主要行事（1月～3月）

1月	4日	仕事始め 放射線技術科2年生 臨床実習開始（～2月17日）
	20日	放射線技術科3年生 第2回卒業試験
	22日	医療保育科 保育実習成果発表会
	28日	一般入試前期
2月	4日	一般入試前期合格発表 放射線技術科3年生 第3回卒業試験
	16日	介護福祉科2年生 卒業時共通試験
	23日	介護福祉科2年生 卒業研究発表会
3月	1日	健康診断（～2日）
	3日	看護科1年生基礎看護学実習Ⅰ開始（～12日）
	11日	一般入試後期
	15日	卒業証書・学位記授与式
	16日	一般入試後期合格発表
	19日	第1回オープンキャンパス

第2種 放射線取扱主任者試験 合格者

（放射線技術科3年生2名）

佐藤 逸美さん 山縣 有紗さん

（放射線技術科2年生18名）

有富 智美さん 池田 卓也さん 石尾 典孝さん
 佐々木 歩さん 新谷 元貴さん 鈴鹿 隆之さん
 関澤 恵理佳さん 高橋 一徳さん 武内 基記さん
 中谷 拓矢さん 中野 裕貴さん 中原 淳成さん
 中山 健人さん 西 香奈枝さん 馬場園 桂さん
 堀 翔一郎さん 堀 真彦さん 好原 あゆこさん

【放射線取扱主任者とは】

放射線業務従事者や一般公衆等に対して放射線障害が起らないように、放射性同位元素等の取り扱いについて監督を行います。一定数量以上の放射性同位元素等を使用・保管する施設では、この免許を取得した「放射線取扱主任者」を配置する必要があります。

平成23年度AO入試・特別入試・推薦入試結果

AO入試

試験日：9月18日（土） 合格発表：9月27日（月）

	看護科	介護福祉科	医療保育科	計
募集人員	20	15	15	50
志願者数	67	12	38	117
志願倍率	3.4	0.8	2.5	2.3
合格者数	37	11	33	81

特別入試

（ ）：社会人枠、内数

試験日：10月16日（土） 合格発表：10月22日（金）

	看護科	臨床検査科	放射線技術科	介護福祉科	医療保育科	計
募集人員	30 (3)	10 (2)	7 (2)	15 (5)	10 (1)	72 (13)
志願者数	47	30	38	3	4	122
志願倍率	1.6	3.0	5.4	0.2	0.4	1.7
合格者数	34	15	10	2	3	64

推薦入試

試験日：11月6日（土） 合格発表：11月12日（金）

	看護科		臨床検査科		放射線技術科		介護福祉科		医療保育科		計	
	指定校	公募	指定校	公募	指定校	公募	指定校	公募	指定校	公募	指定校	公募
募集人員	35		10		10		35		27		117	
志願者数	22	30	34		56		7	7	17	10	46	137
志願倍率	1.5		3.4		5.6		0.4		1.0		1.6	
合格者数	22	13	12		13		7	6	16	10	45	54

平成23年度一般（前期・後期）入試日程

試験区分	願書受付期間	試験日	合格発表
一般前期	平成23年1月4日(火)～1月21日(金)【消印有効】	1月28日(金)	2月4日(金)9時
一般後期	平成23年2月21日(月)～3月5日(土)【消印有効】	3月11日(金)	3月16日(火)17時

国家試験日程

区 分	試験期日	合格者の発表
第100回 看護師国家試験	平成23年2月20日(日)	3月25日(金) 午後2時
第57回 臨床検査技師国家試験	平成23年2月23日(水)	3月31日(木) 午後2時
第63回 診療放射線技師国家試験	平成23年2月24日(木)	3月31日(木) 午後2時

川崎医療短期大学広報誌「若きいのち」(71号)

2010年12月発行

編集発行：広報誌編集委員会

天野貴司（放射線技術科・委員長）
 近末久美子（臨床検査科・副委員長）
 名木田恵理子（一般教養）
 橋本美香（一般教養）
 重田崇之（一般教養）
 阿部裕美（看護科）
 河邊聡子（介護福祉科）
 中井 靖（医療保育科）
 山田 篤（庶務課）
 重政有里（庶務課・書記）

写真協力：二葉写真館

印刷：友野印刷株式会社

皆様からのご意見・ご要望をお待ちしております。

〒701-0194 倉敷市松島316

川崎医療短期大学 広報誌編集委員会

電話：086-464-1032（庶務課）

Eメール：kouhou@jc.kawasaki-m.ac.jp

ホームページ <http://www.kawasaki-m.ac.jp/jc/>

編集後記

今年も学園祭が無事終了し、気が付けば師走。酷暑だったことが嘘のようです。

私事ですが、広報誌編集委員会に加わって四年目になります。当初、広報誌に掲載される写真が、委員をはじめとする教職員の手によって、ほとんど撮影されていることに、驚きました。今回の表紙の写真も、広報誌編集委員の手によって撮影されたものです。

また、今年度の学園祭の写真が、今年六月（第69号）発行の「キラリい顔」に登場の庶務課山口義雄さんによって撮影され、食堂と購買に続く廊下の側面にたくさん掲示されています。イベントや模擬店でのコマが切り取られているこれらの写真から、授業中に見せる顔とはまた別の生き生きとした学生の皆さんの表情に、広報誌のタイトルのように「若きいのち」の輝きを見よう。

今回から、文字が見にくいとのことを受けて、広報誌の文字が少し大きくなりました。今後も、皆様のご意見、ご要望をいただき、改善をしていきたいと委員一同考えています。広報誌をより良くするために、是非ご意見ご要望をお寄せください。（橋本美香）